

議会だより

あまぐち

No.198

平成26年5月1日

発行：愛知県大口町議会

3月議会で決まったこと

平成26年度一般会計予算15.5%増 82億円に

おもな事業 小中学校パソコン等機器更新など

町長施政方針の要点

一般質問 振り込め詐欺などへの対策は

議会報告会を開く

2~5

15

19

おもな事業

継続事業

- ・ 一般簡易無線デジタル受信機購入 5686万円
防災行政無線のデジタル化に伴い、戸別受信機を1300台購入する。
- ・ がん検診を含む各種検診 2941万円
検診は、病気の早期発見の有効な手段の1つであるため、検査種目・対象年齢・費用負担の見直しを図るなど検査を受ける環境を整え、各種検診の受診率の向上を目指す。



新しくなるデジタル受信機

～平成26年度 大口町 各種検診のお知らせ～
 (保健センターまたは医療機関のどちらかを選んで1回受診できます)

<対象者> 町内にお住まいで、勤務先等でがん検診を受ける機会のない方
 対象年齢は、平成27年3月31日現在の年齢でお考えください。

検診	対象年齢	検診の対象年齢と費用	
		保健センター	医療機関
肺がん検診	20歳以上		500円(X線のみ) 1,500円(X線+喫煙)
結核・肺がん検診	40歳以上	無料(X線のみ) 300円(X線+喫煙)	
胃がん(X線)	20歳以上	1,000円	2,000円
胃がん(内視鏡)	40歳以上		2,000円
大腸がん	20歳以上	400円	500円
子宮頸がん	20歳以上(和暦偶数年生まれ)	800円	1,000円
乳がん(MMG)	35歳以上(和暦偶数年生まれ)	1,000円	1,500円
健康診断	20歳以上	700円	
防災無線受信機	40歳以上(一生に1回)	無料(※事前申請)	
ピロリ菌抗体検査	40歳以上(一生に1回)	500円(※事前申請)	
わかば健診	20歳～39歳	500円	

★子宮頸がん・乳がん(MMG)検診は2年に1回受診できます。今年度は和暦偶数年生まれの方が対象となります。※奇数年生まれの方は受診できません。
 ★胃がん・肺がん・大腸がん検診は、年1回受診できます。

各種検診のお知らせ(広報おおぐち5月号折り込みチラシ)

3月議会会で決まったこと

3月定例会は、4日から25日までの22日間の会期で開催されました。

町提出議案は、平成26年度一般会計及び特別会計予算をはじめ、25年度補正予算など24議案が提出されました。採決の結果、職員の給与に関する条例の一部改正など10議案が賛成多数、他の議案は全会一致で可決しました。

議員提出議案7件が提出され、2議案を全員賛成で可決、他の議案は否決されました。

一般質問では、8議員が町政全般にわたり質問をしました。

平成26年度の

新規事業

- ・ **中央公民館耐震補強** **6億6637万円**
老朽化した中央公民館を耐震補強することで、災害時の避難所や後方支援者の受け入れ施設の機能を持たせる。
- ・ **小中学校パソコン等機器更新** **2億4759万円**
小中学校の授業で使用するパソコン等機器を更新する。
- ・ **民間保育園運営** **1億1583万円**
社会福祉法人「宝光福社会」に中保育園の運営を移管することで、民間のノウハウで保育行政に新たな風を吹き込み、保育の質の向上を図る。
- ・ **道路・橋の長寿命化** **8707万円**
長寿命化計画に基づき予防的に修繕することで、道路・橋の長寿命化を図る。
- ・ **地域自治推進** **350万円**
これからのまちづくりを担うおおむね小学校区を単位とした3つの地域自治組織が設立したことから、それぞれの地域での課題解決に向けた事業の実施を検討する。



地域の問題を協議中
(北地域自治組織)



民営化された中保育園



南小学校のコンピューター室



修繕工事予定の五条橋（大屋敷二丁目地内）



避難所となる中央公民館

前年度比15.5%増

町税は3億4801万円増を見込む

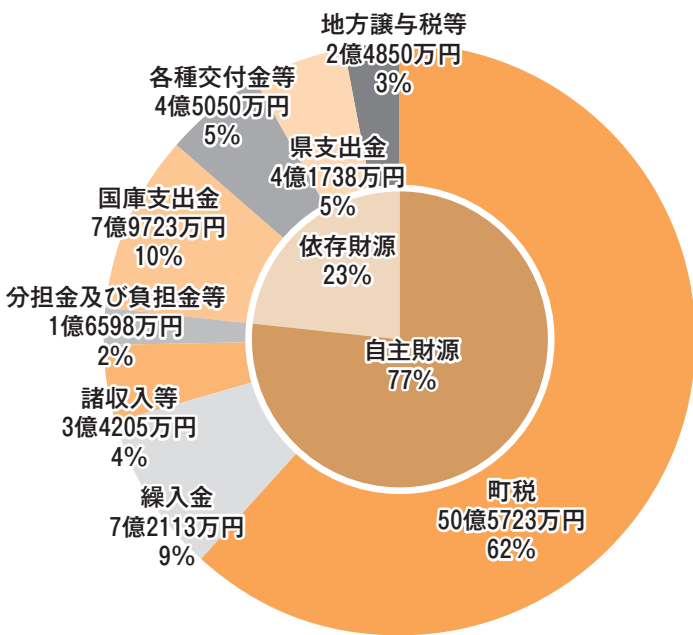


図1 一般会計歳入（項目別）

■ここがポイント！

中央公民館耐震補強工事をはじめ、各施設の修繕や小中学校パソコン等機器更新などが要因で、昨年度と比較して歳入が大きく増加しています。それを補うために今まで積み立ててきた基金、国や県の補助金を計画的に活用しています。

- 自主財源 町が自主的に調達できるお金
- 依存財源 国や県から交付されるお金
- 繰入金 基金や他の会計から入ってくるお金
- 国庫支出金 特定事業財源として、国から交付されるお金

表1 町税予算額 (▲は減額を表す)

税目	26年度	前年度比較
個人町民税	12億5900万円	6500万円
法人町民税	9億5050万円	2億5600万円
固定資産税	26億1983万円	3650万円
その他	2億2790万円	▲949万円
合計	50億5723万円	3億4801万円

町長施政方針の要点

初めて迎える当初予算編成のため、これまでの施策の方向性や取り組みを確認するとともに、私の思いや経験を基に、施策方針の策定や予算の編成を行いました。

そのうえで、事業の調整と特定財源の確保に努めた結果、一般会計82億円、8特別会計約43億円の総額約125億円の平成26年度当初予算を上程しました。

本年度は「未来づくり」として、50年先を見据えた土地利用と道路網の見直し、地域自治推進と防犯対策、健康づくりなどによる豊かな暮らしづくりを重点に取り組んでいきます。

未来を担ってくれる子どもたちが、「このまちに住んでよかった」と思えるような50年後のまちづくりのために、着実に施策を進めていきます。

【町税の状況】

町税の割合は、全体の62%で、収入の柱となっています。町内企業の業績に回復の兆しが見受けられることから、法人町民税は2億5600万円の増額を見込んでいます。

歳入82億円のうち、町税、繰入金などの「自主財源」は77%で、健全な状態となっています。(図1)

また、固定資産税は、3650万円の増額を見込み、全体の約半分以上を占め、安定した推移で町の財政基盤を支えています。(表1)

歳入(財源)

82億円を可決

一般会計 予算

民生費が31%を占める

■民生費とは、高齢者、障がい者、保育園などに使われるお金

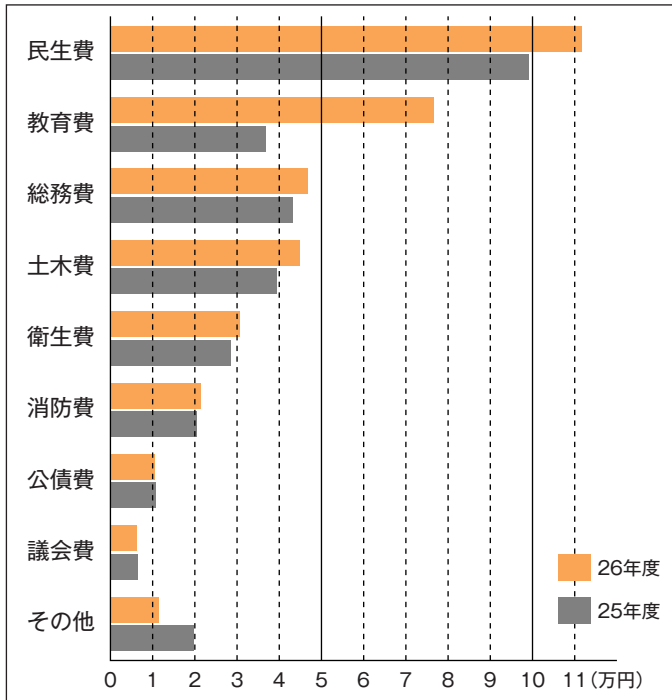


図3 町民1人当たりに使われるお金(目的別)

※人口を22,900人で算出

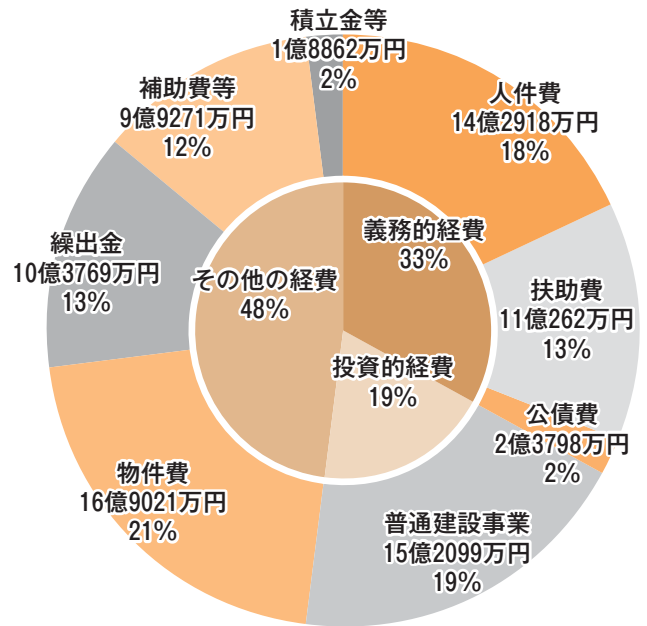


図2 一般会計歳出(性質別)

特別会計 予算

(▲は減額を表す)

会計名	26年度	前年度比較
国民健康保険	19億7700万円	3270万円
介護保険	10億7949万円	6318万円
公共下水道	9億2531万円	▲2826万円
後期高齢者医療	2億2642万円	2685万円
土地取得	4650万円	4632万円
農業集落家庭排水	2686万円	415万円
社本育英	903万円	432万円
国際交流	618万円	30万円
計	42億9679万円	1億4956万円

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

- 扶助費 法令に基づき被扶助者に支出される経費(福祉手当、児童手当など)
- 物件費 賃金、旅費、委託料、交際費などの消費的経費
- 補助費等 各種団体への補助金や交付金など
- 繰出金 基金や他の会計に出すお金

歳出(使いみち)

歳出を性質別にみると、義務的経費の人件費、扶助費、公債費(借入返済)は、33%です。この比率が低いほど、町独自の施策展開に余力があると判断されます。

投資的経費の普通建設事業には、道水路など生活基盤整備や将来に向けた整備が含まれています。

町民1人当たりに使われるお金では、消費税増税に伴い、臨時措置される臨時福祉給付金などが増額される民生費の割合が最も多くなっています。

小中学校パソコン等機器更新や中央公民館耐震補強工事により教育費が前年度から大きく増加しています。(図3)

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の制定及び全部一部改正

災害応急対策又は災害復旧のため派遣された職員に対する災害派遣手当に関する条例

問 テントなど野営のよ
うな施設を使った場合、
適用されるのか。

答 テントのようなものは該当しない。

問 条例の別表「その他の施設」とは。

答 町内にないが、旅館施設を指す。派遣職員に宿泊が伴うので指定する。

職員の給与に関する条例

問 評価期間は、いつからいつまでか。

答 前年度の1年分とする。

問 頑張っても報われないのでは。

答 成果の出るもの、出ないものがあるので、複数の目でいろんな視点から慎重に判断する。

子ども・子育て会議設置条例

問 会議を公開しては。

答 会議録などをホームページに公表するなど情報公開に努めていくが、傍聴は考えていない。

問 委員15人の構成は。

答 保育園の父母の会代表、小学校長代表、小学校のPTA代表、子育て支援団体代表や公募委員2人など総枠15人以内で構成する。

保育所設置条例

問 今回の改正は。

答 前回の改正は、県の認可を受けるために一部だけ改正した。今回は、条例から規則までの一連を改正する。

児童扶養手当支給条例

問 児童扶養手当の申請をしていない人はいるのか。

答 国の基準を満たせば支給される。申請主義なので把握できていないが、住民票の確認ができれば案内している。

保育の実施に関する条例

問 保育所運営委員会は、規則で設置されているが、なぜ条例に規定するのか。

答 公立・私立を含めた4園で、保育所の運営を議論できるように改正する。

問 DVで逃避している場合は。

答 裁判所の保護命令を受けた者は、居住地で申請ができる。



保育園での様子

平成26年度 一般会計・特別会計予算

生きがいい活動支援 センター整備

問 社会福祉協議会は営利を目的としない団体なので、改修にあたっての原資はあるのか。

答 新しい事業に取り組むため、基金を積んでいる。

基金

問 多くの基金があるが、整理はできないのか。

答 それぞれの基金には、その目的と財源の経緯があり、今はこの基金を活用しながら運営したい。

小中学校パソコン 等機器更新

問 パソコンの配置数とタブレット端末の値段は。

答 南小78台、北小87台、西小87台、大中103台の計355台。タブレット端末は1台13万円で積算している。

地域自治推進事業

問 地域自治推進事業の350万円は何を委託するのか。

答 地域の皆さんと一緒に進める協働委託の契約をする。内容は、地域自治組織と協議しながら進めていく。

平成25年度 一般会計・特別会計補正予算

一般会計補正予算

問 法人税割1億5600万円の追加は、どの業種か。

答 自動車関連の大手企業が目立っている。

問 巡回バスの運営費補助制度をつくるように、県に働きかけてはどうか。

答 難しいと思うが、働きかけてみたい。

問 保育士の再任用を考へてはどうか。

答 保護者の協力、保育環境などいろいろ問題はありますが、今後努力していきたい。

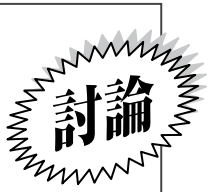
問 小中学校の非構造部材の調査と設計をしているが、具体的にどこか。

答 大口中学校の体育館、ランチルームの天井、北小学校の体育館の天井、買い足したロッカーやスピーカーなどが落下の危険性があるので、積極的に対応していく。

介護保険会計補正 予算

問 訪問看護は検討中と報告があったが、今後議会に提示はあるか。

答 事業所から提案があり、県への申請や事業所の建築など、明確になった時点で説明する。



職員の給与に関する
条例の一部改正

反対討論 吉田 正

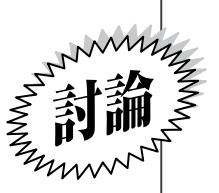
一緒に仕事をして、同じ成果を上げてもらってに差があったらやる気が出ない。住民目線で、住民が喜んでもらえる仕事をするのが仕事の誇りと言えるのでは。



反対 2
賛成 12

賛成討論 前田新生

公務員制度改革の中で、成果主義の導入は重点事項の一つであり、公務員という職務の特殊性を考えれば適切である。



保育の実施に関する
条例の一部改正

反対討論 江幡満世志

公が保育行政を外部に求め、財政上の問題を解消したかのような全国的な流れがある。預ける先がないような保育メニューでは子育てする保護者の人たちが困るのでは。



反対 2
賛成 12

賛成討論 大島保憲

保育メニューの拡大により、保護者にとって保育サービスの選択肢が広がるとともに、町全体の保育の質の向上や保育園児が等しく質の高い保育が受けられる。

討論

平成26年度一般会計
予算

反対討論 吉田 正

各施策に対する問題を指摘した。自治体の役割は、住民の暮らしを守る防波堤になること。そうした立場で歩まれることを要望する。



賛成討論 前田新生

厳しい財政状況と社会情勢が大きく変化する中で、施策内容の後退を最小限に食い止めるべく、多岐にわたる施策の見直しや改善を加えながら、市民の視線に沿った取り組みである。

討論

平成26年度国民健康
保険特別会計予算

反対討論 江幡満世志

政府は社会保障を縮小し続けている。その結果、自治体や加入者への負担が増大し続けているのが実態だ。



賛成討論 伊藤 浩

人間ドック及び特定健康診査の予算を計上し、予防にも力を注ぐなど、保険税の公平かつ適正な賦課、徴収や適正な保険給付を主眼とした予算内容である。

15議案で討論がありました。4議案を掲載しました。

議員提出議案

2件の議案とともに
全員賛成で可決し、国
の機関などへ議会から
意見書を送付しました。

・新聞購読料への消費税
軽減税率適用等を求める
意見書
提出者 酒井廣治

ただし、江幡満世志、
吉田 正の2人は、採決
の前に退席した。

・安定的な雇用と公正な
処遇を求める意見書
提出者 前田新生

5件の議案をすべて
起立少数で否決しまし
た。

・集团的自衛権の行使容
認に反対する意見書
提出者 吉田 正

・4月からの消費税8%
への引上げ中止を求める
意見書
提出者 吉田 正

・原発ゼロを決断し、再
生可能エネルギーの普及
を求める意見書
提出者 吉田 正

・普天間基地の辺野古移
転を断念し、無条件撤去
を求める意見書
提出者 吉田 正

・公約違反と秘密交渉の
TPP交渉から即時撤退
を求める意見書
提出者 吉田 正

・集团的自衛権の行使容
認に反対する意見書
提出者 吉田 正

・安定的な雇用と公正な
処遇を求める意見書の採
択を求める請願書
(全員賛成で採択)

請願・陳情

2つの請願と1つの陳情は、所管の常任委員会
で審査しました。

【請願】

請願者 大口町新聞販売
店会
代表 青山好伸
紹介議員 酒井廣治

・新聞購読料への消費税
軽減税率適用等を求める
意見書提出に関する請願
書
(全員賛成で採択)
ただし、吉田 正は、
採決の前に退席した。

請願者 日本労働組合総
連合会愛知県連合会会長
土肥和則
紹介議員 岡 孝夫

・安定的な雇用と公正な
処遇を求める意見書の採
択を求める請願書
(全員賛成で採択)

【陳情】

陳情者 日本青年団協議
会
会長 立道 齊

・これからの勤労青年教
育のあり方に関する要望
書
(聞きおく)

賛否の分かれた議案

他の20議案は全員賛成で可決

○=賛成 ×=反対

議案名	議員名														結果	
	江幡	吉田	柘植	伊藤	前田	大島	丹羽(孝)	岡	土田	齋木	宮田	酒井	丹羽(勉)	木野		倉知
職員の給与に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
保育の実施に関する条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
保育所設置条例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成25年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成26年度一般会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成26年度国民健康保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成26年度後期高齢者医療特別会計予算	退席	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成26年度介護保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成26年度公共下水道事業特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
平成26年度農業集落家庭排水事業特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
集团的自衛権の行使容認に反対する意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	否決
4月からの消費税8%への引上げ中止を求める意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	否決
原発ゼロを決断し、再生可能エネルギーの普及を求める意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	否決
普天間基地の辺野古移転を断念し、無条件撤去を求める意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	否決
公約違反と秘密交渉のTPP交渉から即時撤退を求める意見書	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	否決

(議長は裁決に加わらないため空白)

3月31日

平成26年度第3回臨時会

町提出の1議案を賛成多数で可決しました。

国民健康保険条例の一部改正

問 課税限度額は、町独自で考えたものか。

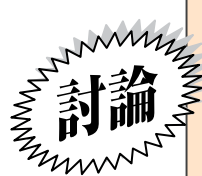
答 地方税法の改正に伴うもの。

問 今回の改正で、町はどれくらい増収になるのか。

答 課税限度額が上がれば対象が減ることになり、800万円の減収となる。

問 国からの補てん措置はあるのか。

答 県が4分の3、残りは町が負担することになる。



反対討論

江幡満世志

国は、消費税増税による低所得者対策として、軽減枠を拡大するが、医療費や生活費などすべてに負担が増えるので、増税をやめればよい。



賛成 12
反対 2

賛成討論

大島保憲

国民健康保険の抱える構造的課題に対応するため、被保険者間の負担の公平の確保と、低所得層の軽減を図るものであり、内容も適切である。

町政を問う

8議員が質問

子宮頸がん予防ワクチン接種 副反応が問題視されているが 部長 国の動向を注視しながら対応



土田 進

土田 子宮頸がん予防ワクチン接種を積極的に勧めていない理由は、

健康福祉部長 持続的な激しい痛みが

接種後に特異的にみられる事例が報告されている。その副反応の発生頻度が解明されるまで、定期接種を積極的に推奨すべきではないと厚生労働省から勧告が出されたので、現在も積極的な勧奨は差し控えている。

土田 全国的にワクチンによる副反応が問題視されている中、厚生労働省が再開可能と判断した場合、町はワクチン接種を再開するのか。

健康福祉部長 厚生労働省からは、定期接種を中止するものではなく、対象者の中で接種希望者には接種できるものとなっている。今後も、厚生労働省の動向を注視しながら対応していく。

土田 定期健康診断を充実させて、早期発見・早期治療を促進した方が、町民の健康管理上も有効ではないか。

健康福祉部長 多くの方にがん検診を受けていただけると、子宮頸がん検診は、20歳及び40歳から60歳までの5歳刻みの女性に、また、すべてのがん検診に対しても、40歳から60歳までの5歳刻みの方全員に無料クーポン券を配布し、がん予防対策に努めている。

大中の運動部活動

バックアップ体制の充実を

部長 補助している

土田 中学校の運動部活動を強化するため、専門的コーチの臨時雇用を検討できないか。

生涯教育部長 外部指導者として、地元の方にコーチをお願いし、また、部活動の顧問が各協会や連盟の研修を受けるなど、より高い水準の技能習得に努めている。

生涯教育部長 各協会、連盟への登録費、大会に参加するための参加料のほか、遠方での大きな大会に出場する際に必要となる宿泊、交通、食事の費用を補助している。

土田 団体競技の県大会、東海大会や全国大会で活躍できるようバックアップ体制の充実を検討できないか。

生涯教育部長 各協会、連盟への登録費、大会に参加するための参加料のほか、遠方での大きな大会に出場する際に必要となる宿泊、交通、食事の費用を補助している。



屋内運動場での練習風景

空き地の有効活用を

部長 プロジェクトで検討する

丹羽 地元では、10軒以上の空き家がある。町内の空き家、空き地、空き工場の状況は。

建設部長 町内の空き家は、38軒。空き地は、把握していない。空き工場は、工場閉鎖や移転に伴う土地の売買や開発などの相談で間接的に情報を得ているが、すべてを把握していない。

丹羽 全国では、空き家管理条例を211市町村が制定している。本町の考えは。

建設部長 県内で制定している自治体は4つある。本町では、空き家のうち未管理が5軒という状況であり、差し迫って条例を備える必要性はないと考えている。

丹羽 工場の跡地や周辺の付帯土地など空きスペースの有効活用は。

建設部長 「未来の土地利用検討プロジェクト」が立ち上がり、50年後に向けた土地利用の策定に向けて、検証や検討を重ねていく。



丹羽 孝



閉鎖された工場（上小口地内）

地方交付税

不交付団体を維持するための課題は

部長 人口の割に豊かな税収を確保すること

丹羽 本町は、全国1742の市町村のうち48しかない地方交付税不交付団体の1つだが、そのメリット・デメリットは。

先人のおかげで他団体と比べ財政豊かな町である。健全財政の堅持とさらなる将来への布石となる施策を展開し、先人の志を次世代に引き継ぎたい。

総務部長 メリットは、全国でも数少ない不交付団体という誇りがある。デメリットは、国の税制改革で国が打ち出す新規事業の財源が交付税であり、補助金や交付金の算定においても不交付団体は抑制されることがある。自主自立を掲げる本町にとって非常に厳しい現実ではあるが、

丹羽 本町は、不交付団体として30年以上継続している。維持するための町の課題は。

総務部長 不交付団体を維持するには、行政運営の継続的な改善ではなく、人口の割に豊かな税収を確保する取り組みが大切となる。本町に立地する企業の活動に必要なニーズをつかみ、町として対応し続けることが必要と考える。

不交付団体の状況

不交付団体	平成25年度	平成24年度	平成23年度
都道府県	1	1	1
市町村	48	47	48
合計	49	48	49

都道府県：東京都

通学路に防犯カメラを

部長 今年度は主要な交差点などに設置する



宮田和美



危険とされる国道41号下トンネル

宮田 北小学校、中学校や近隣市町の学校へ通う子どもたちは、国道41号下のトンネルを通過して通学している。ここは、今までも不審者が出たり、落書きをされたり大変危険なところである。

地域協働部長 交通量や町内への人や車の出入りを考慮し、防犯カメラの果たす役割がより大きいと思われる主要幹線道路に通じる交差点などに設置する。少しでも犯罪の抑止につながり、安全で暮らしやすい町を目指している。

平成26年度予算に空き巣などの抑止力を目的とした防犯カメラを10基設置の計画であるが、子どもたちを守るために通学路に設置できないか。

資源リサイクルセンター 生ごみを回収できないか 部長 回収は考えていない

宮田 町内で環境問題に興味を持つている人が一番多く集まるところといえば、資源リサイクルセンター。毎日400人前後が訪れている。センターで生ごみを回収できないか。

地域協働部長 センター建設時に、「地区で行っている資源ごみ回収と同じ品目を回収する模範的な施設」と、地元説明をしている。そのため、施設では地区と同じ品目の回収をしている。生ごみは回収品目に入っていないので、施設での回収は考えていない。

宮田 スタンプカードの押印は、利用者自身で押す制度に改善すべきでは。

地域協働部長 カードの期限確認、再発行、景品渡しなどの作業があるので、今までどおり職員で継続していく。



受付の様子

【その他の質問】

- 問 交通災害共済について
- 問 自転車保険について
- 問 生ごみの買取制度の確立を

「ハート・プラスマーク」の 理解と支援を



部長 広報・周知に取り組んでいく

柘植

心臓、腎臓や肺などが、体の内部に障

がいがあっても外見からは分からない。お年寄りに席を譲るように指摘されることもあり、社会理解の拡大を目指す必要がある。

部障がいを取り上げてほしい。
③本町の公共駐車場に内部障がい者専用を設けてほしい。

健康福祉部長

内閣府では、「ハート・プラスマーク」を活用した啓発を呼び掛けている。

本町では、「ハート・プラスマーク」の認知度は高くないと考え、広報・周知に取り組んでいく。

①「ハート・プラスマーク」が印字されたカードとバッジの無料配布をしてほしい。

②福祉関連の授業で、内

①障がい者のための国際シンボルマークなどで購入していただいているので、無料配布は考えていない。

生涯教育部長

②各小中学校では、身体的な障がいを持つ人に対する理解を深める授業として、疑似体験などを行っている。授業に取り入れる場合は、資料収集や研修などを通し、教師の問題意識を高める事前準備が必要となる。



柘植 満

健康マイレージの取り組みを

部長 「(仮称)健康マイレージカード」を交付していく

柘植

健康診断の受診やスポーツ活動への参加などでポイントを貯めると特典を利用することができ「健康マイレージ」の取り組みが注目されている。

町民の健康、受診率を上げ医療費や介護の抑制につながる「健康マイレージ」の取り組みをしてはどうか。

健康福祉部長

がん検診の受診や生活

習慣病予防、介護予防事業への参加を盛り込み、一定以上のポイントを獲得したらさまざまな特典が受けられる「(仮称)健康マイレージカード」を交付していく。

楽しみながら健康づくりが継続できる仕組みとして、県の制度を活用して、商工会をはじめ関係機関と連携しながら進めていく。



健康体操教室

【その他の質問】

問 ボランティアポイント制度について



岡 孝夫

最小限の経費で最大の効果を 事務改善委員会の活動は 部長 平成6年度以降、活動は行っていない

岡 事務改善委員会は開
催されているのか。

総務部長 平成6年度以降、活動していない。

その後は、別組織で行政改革、集中改革プランを実施した。また、21年7月に事務改善プロジェクトを結成し、消耗品や物品の管理方法などを改善して行政コストの削減や職員の意識改革につながる取り組みを行った。

岡 他の取り組みにより改善に取り組んでいるとの答弁だが、そのような取り組み自体、何か別の規則などで決められているのか。

総務部長 文書化されたものはない。

現在は、職員間で温度差はあるが、そういった意識が職員にはほぼ根付き、日常的に課内で改善に取り組み、経営計画書や個人目標管理シートで常に事務改善、意識の改革に取り組んでいる。

岡 職員自らが作ったルールは守らず、他のやり方で仕事をしていくという考え方はいかがか。何から何までルールで縛れとは言わないが、違う仕事のやり方をやっているようなら、この規程は廃止あるいは見直すべき。

サイバーコミュニティもおおぐち

今後のあるべき姿を考える時期では

部長 サーバーの更新に合わせて見直す

岡 2010年のイベントに「NEW」のマークがついていたりして、これはいかがなものか。

地域協働部長 動画のアップには撮影・編集・公開まで専門的な知識を要し、また、時間がかかるため、現在は更新を休止している。

岡 過去の経緯が分かるし、過去のイベントなども楽しめるが、行政が管理しているホームページとしてはどうか。

地域協働部長 貴重な動画もあり、当面は既存のコンテンツを残しつつ、今後の配信を検討したい。

岡 今すぐではないにせよ、今後のあるべき姿を考える時期に来ていると思うが。

地域協働部長 サーバー更新時期に合わせて見直したい。

現在このホームページの更新を休止しております。
リンク切れ等も生じますご了承願います。大口町が提供している動画は今までどおりご覧になれます。(2012年10月23日)

Topics	What's New
今月の動画配信 ↓クリック	
	2011.3.15 地域ICT利活用広域連携シンポジウム NEW! ふれあいまつり(ダッシュマン)
	2010.12.22 伝統芸能発表会
	2010.12.20 COP10(ダッシュマン)
	2010.12.13 平第9回やろ舞い大祭
	2010.12.06 平和祈念式2010 夏のふれあいフェスティバル 祝優勝!大口町消防団 あっぱれ桜華祭2010
オリジナルVOD視聴時追加しています。撮影、要領、編集と惜れない作業に悪戦苦闘...協力者募集	2010.12.03 大口町の未来を考えるフォーラム
	2010.2.9 第一部事例発表 第二部パネルディスカッション

2年以上、更新が停止されたままに

【その他の質問】

- 問 職員提案制度の実績は
- 問 安全衛生管理規程について

振り込め詐欺などへの対策は

部長 掲示板や広報無線で注意喚起

齊木 振り込め詐欺など
特殊詐欺は、年々

悪質化し、被害者や被害
金額が増加している。被
害対策として、啓発活動
の取り組みは。

地域協働部長

「大口交番
だより」や

「大口交番速報」を各区
の掲示板へ掲出し、注意
喚起している。町内で特
殊詐欺などの事案を確認
した場合は、広報無線や
あんぜん安心メールで速
やかに情報を流し、被害



齊木一三



掲示板

の拡大を防ぐようにして
いる。被害者は、高齢の
方が多く、地域の老人ク
ラブの行事で、江南警察
署による講座なども随時
開催している。

齊木

地域や学校での消
費者教育の取り組
みは。

地域協働部長

県の消費生
活情報誌「あ

生涯教育部長

学校では、
消費生活教

育の授業は行っていない
が、食料問題やインター
ネットでの取り引きなど
を社会の授業で実施して
いる。

老朽化が激しい町営住宅の対策は

部長 耐用年限を過ぎていて整備が難しい

齊木

植松住宅・小口住
宅の2階建ての町
営住宅30戸は、建物経過
年数も約40年と老朽化が
激しく、入居者も高齢化
している。高齢者に配慮
した整備が必要では。

建設部長

植松住宅・小
口住宅の2階
建ては、耐用年限をすで
に過ぎていることから、
改修経費が高額となり難
しい。

齊木

耐用年数が間近に
迫っている植松住
宅の今後の土地利用計画
の検討が必要では。

建設部長

植松住宅がす
べて撤去され
たのちの跡地利用は、具
体的には未定であるが、
今後、町として必要とさ
れるものを検討していく。



老朽化した植松住宅（築45年）

【その他の質問】

問 町の未使用財産について



江幡満世志

国民健康保険税を1万円下げよ

部長 軽減は考えていない

江幡 財政調整基金の残額はいくらか。

健康福祉部長 現在の残額は、1億9300万円。

江幡 基金を活用して、減額は可能ではないか。

健康福祉部長 持続可能な社会保険制度の維持を図ることや急激な保険税の上昇を抑えるため、財政調整基金を活用しながら健全で安定した国保運営をしたいので、軽減することは考えていない。

江幡 今後、基金で軽減できるようであれば、取り組んでいただきたい。

江幡 4月から消費税が増税され、日常生活で負担が増加する。負担軽減となる支援策として国民健康保険税を減免世帯以外、一律に1万円軽減するのに、どれくらいの費用が必要か。

健康福祉部長 国保加入世帯約3000世帯から、軽減枠拡大に伴う軽減世帯1257世帯を差し引いた1743世帯に1万円を乗じた1743万円になる。

住宅リフォーム助成制度

創設せよ

副町長 取り組むつもりはない

江幡 国土交通省は、新年度予算案で、「長期優良化リフォーム推進事業」に取り組み始めた。本町でも、リフォームを推進することにより地元事業者への支援や景気の刺激になるので、取り組むべきでは。

副町長 これまでも回答してきたが、町としては、一自治体の取り組みでは経済効果に疑問があること、雇用促進につながることは考えにくいこと、町内業者だけで仕事が循環する仕組みが構築されていないこと

などから、地域における経済活性化策として有効な手段とは認識していないので、取り組むつもりはない。



リフォーム中の住宅

【その他の質問】

- 問 小規模事業者への支援を拡充せよ
- 問 今年もプレミアム商品券の発行を

平和首長会議に加盟して

町長 入会の準備を進めている

吉田 平成25年9月18日、劇が二度と地球上で繰り返されることはないよう、世界中の都市が国境を越え、力を合わせて2020年までに地球上から、核兵器をなくしていくことを目指す、国際的なネットワークで、アメリカの大きな都市をはじめ、世界の5759都市が加盟し、各地でさまざまな平和推進活動を展開している。

町長は戦死しており、遺族会に入っている。戦争は、一番いけないことだと思っている。平和首長会議に入会するように準備を進めている。

吉田 平成25年9月18日、名古屋市長は平和首長会議に加盟申請を行った。「ひととはひと、自分自身」は結構ですが、町長の立場で考えてほしい。

平和首長会議は、1982年に国連本部で開催された第2回国連軍縮特別総会において、当時の広島市長が核兵器廃絶に向けて、都市連帯を呼びかけたことがきっかけで始まった。あのような悲劇が二度と地球上で繰り返されることはないよう、世界中の都市が国境を越え、力を合わせて2020年までに地球上から、核兵器をなくしていくことを目指す、国際的なネットワークで、アメリカの大きな都市をはじめ、世界の5759都市が加盟し、各地でさまざまな平和推進活動を展開している。

県内では、自治体の半分以上にあたる38の首長が加盟している。近隣では江南市、扶桑町、犬山市、岩倉市も加盟している。町長もぜひ、平和首長会議に加盟して、核兵器のない世の中にする世界の連帯を広げていただきたい。



吉田 正

被爆者団体と懇談を 町長 直接懇談したい



原爆被災者の会の人たち

吉田 広島や長崎で原子爆弾の被害にあわれた人の団体「愛知県原爆被災者の会」の人たちが、毎年県内の自治体を訪問して、原水爆のない社会にするため要請に訪れている。鈴木元町長は、こうした団体の人に直接会って、要請を受けている姿を覚えている。会って懇談してはどうか。

町長 スケジュールを調整して、直接懇談したい。

【その他の質問】

- 問 高齢者や障がい者の移動手段である巡回バスやタクシー助成を充実させて健康を維持しよう
- 問 「若者なんでも相談員」を配置して働く権利などを守り暮らしを豊かにしよう
- 問 2割負担を1割負担に軽減して（70歳からの医療費自己負担）
- 問 「ワーキングプア」という言葉を死語にしましょう

〈大政クラブ・研政会〉静岡県御前崎市

中部電力(株) 浜岡原子力発電所を視察

福島第一の事故を教訓に

より一歩進んだ「ものの見方・ものの考え方」につながればと思いました。

発電所の安全を守る基本3ステップ（原子炉を止める、原子炉を冷やす、放射性物質を閉じ込める）

視察を終えて

を多重に対策をすることにも、巨大地震への備えや津波対策など、更なる安全対策に3000億円の経費を費やす工事が行われていました。

百聞は一見にしかず

今回、福島の事故を繰り返さないための浜岡原発のさまざまな取り組みを現地で目の当たりにできました。

短時間ではありましたが、今回の視察は、参加した議員全員にとって、

さまざまな発電方式がある中、安全性・安定供給性・発電効率・コスト・環境負荷など、それぞれメリット・デメリットがあります。そのため、複数の発電方式を組み合わせたベストミックスを追求していかなければならない現状があります。この視察を契機に、我が国にとっての電力供給のあり方を更に関心を持って注視していきたいと思えました。

(岡 孝夫)

1/28 (火)

視察行程:

- 1 概要説明(原子力館 会議室)
- 2 館内見学(原子力館・展望台)
- 3 見学(5号機原子炉建屋内ギャラリー、同機中央制御室、使用済燃料貯蔵プール、敷地内の水密扉、取水槽、海水取水ポンプ、防波壁等)

なお、発電所の敷地面積は本町面積の12%に相当する広大なものとのこと



原子力館の模型の前で

〈公明党〉

長野県小布施町「まちとしょテラソ」

埼玉県坂戸市 市ぐるみで健康づくり

10/3 (木)

10/4 (金)

こだわりの図書館

小布施町の図書館「まちとしょテラソ」は、100人もの住民が参加した建設運営委員会での意向が、設計段階から随所に反映された町民こだわりの図書館となっています。

をなくすように設計され、全体に見通しが良く開放感がありました。交流の場のフロアでは、講演会や映画祭などが開催され、出合いの場となっています。

健康には葉酸が一番

館長は、図書館が掲げる学びの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場というコンセプトを、持続可能な形で実現していきたいと事業に取り組んでいます。館内は、高すぎない本棚、柱は死角

坂戸市は、「おいでおいで健康づくり計画」の一環として、葉酸プロシエクトに取り組んでいます。葉酸は、脳血栓や認知症のリスク低減に効果があると市内の女子栄養大学の研究成果を市の施策として取り入れたものです。市は、葉酸プロシエクトを立ち上げ、地元大学や地元産業と連携。葉酸を多く摂取できるメニュー開発や健康に配慮したメニューを提供する店舗を巻き込んで、市ぐるみで健康づくりに取り組んでいます。



町民こだわりの図書館「まちとしょテラソ」

(柘植 満)

議会報告会を開くへ議会基本条例策定特別委員会へ

ご意見ありがとうございました

議会基本条例策定特別委員会は、3月28日「矢戸川をきれいにする会」と「町民活動まかせてネット」の皆さんの参加をいただき、議会報告会を開きました。参加者からは、「もっとスピード感を持って、議会基本条例を策定してほしい」、「若い人がやりがいの持てる議員報酬にすべきではないか」などの意見が出されました。今後、こうした意見をどのような仕組みで解決していくのが課題となります。



議会報告会の様子(健康文化センター)

委員会は、条例をつくるのが目的ではありませんが、まずはできることから取り組むことが大切だと考え、今後いろいろな団体と意見交換していくことで、より身近な議会となることを目指します。

(吉田 正)

2月21日、中保育園で給食試食会が行われ、文教福祉常任委員と町長以下、町関係者が参加しました。

ごちそうさまでした!
素直・無邪気・元気・笑い



この日のメニューは、ご飯、鯖の味噌煮、千草和え、麩のすまし汁、そしてデザートはみんなが大好きなイチゴ〜。



たくさん食べて大きくなあれ!(中保育園 そう組)

この日の大口町産の食材は、白菜と大根(葉っぱも)とのこと。

ほんのり甘口の鯖の味噌煮は絶品で、おかわりをする子もたくさんいました。

感心したのは箸の使い方。もちろん魚の煮付けなので少しは骨が残っているのですが、上手に取り除いて、「いくついくつ骨があったよ」と教えてくれました。

私がおじやました「ぞう組(年長さん)」は、素直で無邪気で元気がいっぱい。溢れる笑顔に包まれ、子どもたちとお話をしながらの給食はとてもおいしく、幸せなひと時を過ごすことができました。

(岡 孝大)

